経営体の概要

•所在地:北海道芦別市常磐町

•経営体名:常福地区先進農業機械利用組合

·栽培作物·作付面積:水稲 133ha ·従業員数:12名(令和5年現在)

導入技術

- ·RTK-GNSS基地局 ×1箇所
- ·GNSS自動操舵田植機(8条) ×2台
- ・既存田植機(8条)用GNSS自動操舵システム ×3台
- ・GNSSガイダンスシステム ×3台 ・GNSSスタブルカルチ ×1台
- ・GNSSレベラー × 2 台 ・GNSSブロードキャスター × 1 台
- •GNSSロボットトラクター (113ps) ×1台
- ・GNSSオート田植機(8条) ×2台



導入経緯

- ・ 当該地区では、経営者の高齢化が進んでいることから、農地の利用 集積、コストの低減が喫緊の課題となっていた。
- ・ コストの低減を図るとともに、地域内農業者からの作業受託の拡大を目的に、平成28年度にGNSSガイダンスシステム等を導入した。
- ・ 平成30年度にはロボットトラクター(113ps)、オート田植機8条 各1台を導入。

取組の特徴・効果

- RTK GNSS基地局を設置し、GNSSガイダンスシステム等の導入による田植及び施肥の均一散布、圃場の均平化に活用。
- これにより省力化が図られ、特に人手を必要とする田植え時期などに、大きな効果を実感。
- ※田植え労働力の削減効果:導入前10名(運転5名、苗補給5名) 導入後5名(運転兼苗補給)
- 今後もICT化を進め、基地局を活用して水田センサーを使った水管理の省力化を図る予定。
- ICT技術の更なる活用により、「経験」や「勘」に頼りがちな現状の 農業から、ビッグデータを基に最適な作業を導き出す農業へ進化さ せることで、農業未経験者でもオペレーター等として農業分野で就 労できる環境づくりに繋げていく予定。
- 地域では、人口減少等による後継者や労働力の不足が継続的な 課題であり、このような取組を進めることで、地域での就労機会を増 やし、農業の維持・発展を目指していく。